

地下水保全顕彰制度 最優秀グランプリ紹介

最優秀グランプリ：サントリー株式会社 九州熊本工場



サントリーグループは企業理念の中核である「人と自然と響きあう」のもとステークホルダーとの約束として「水と生きる」を掲げ、水に関するさまざまな活動に取り組んでいます。サントリー株式会社九州熊本工場は、2003年業界初のビール類に加え清涼飲料水を生産するハイブリッド工場として稼働して以降、設備投資による水排出ロス削減、人による日常管理を通じた水使用量適正化、水のリサイクル活用など多くの省水活動を展開し、地下水保全に努めています。直近では、井戸水位・流量の常時監視を続けていくとともに、井戸に濁度計を設置して品質に応じた制御を用い最適汲上量を実現するなど、常に新たな省水活動を推進しています。さらに、当工場の水保全活動をさらに発展すべく社内外と連携し国際的な認証である Alliance for Water Stewardship (AWS) (※1) を取得致しました。工場周辺流域における水収支の把握、科学的データに基づく水源涵養活動、工場での節水や水質管理の取り組み、流域内のステークホルダーとの連携や適切な情報公開を実施しています。



九州熊本工場の水源涵養エリアにあたる森を「天然水の森 阿蘇」と制定し 2003 年から森林整備活動を展開しています。さらに 2010 年からは、益城町津森地区の水田で湛水(たんすい)農地「冬水田んぼ」と呼ばれる地下水涵養活動を実施し、「天然水の森」と一体となった涵養活動を実施しています。工場で使用する地下水の 2 倍以上を涵養することを目指して活動を推進しています。さらに、「天然水の森 阿蘇」のフィールドを使用して、次世代環境教育「森と水の学校」も 2004 年から継続的に実施しています。「天然水の森」活動、次世代環境教育「水育」活動は、どちらも熊本の「天然水の森 阿蘇」で始まり、現在では「天然水の森」は全国で 21 カ所、約 12,000ha まで広がり、「水育」は累計参加者が 21 万人を突破しています。

今後も、サントリーグループは環境ビジョン 2050 で掲げる水のサステナビリティを追求し、水を大切に使いきれいにして自然に還すだけでなく、水を育む森を守るなど、自然界における水の健全な循環への貢献、地域の皆様と一体となった自然環境の保全・再生につながる活動に取り組んでいきます。

(※1 世界中の工場を対象とした持続可能な水利用に関する認証 <https://www.suntory.co.jp/news/article/13617.html>)

地下水保全顕彰制度認定企業・団体紹介

ゴールド認定：KMバイオロジクス株式会社



KM バイオロジクス株式会社は、2018年7月に一般財団法人化学及血清療法研究所（化血研）の主要事業（ヒト用ワクチン、動物用ワクチン、血漿分画製剤、新生児マススクリーニング検査）を承継して新たにスタートした会社です。現在は新型コロナワクチンの開発にも取り組んでおり、一日でも早く皆様に国産ワクチンが供給できるよう努力を重ねております。

サステナビリティの推進を最重要テーマの一つと位置づけており、地下水保全に関しては、化血研時代より行っている、白川中流域での地下水涵養事業への協力を継続しています。また、「ウォーターオフセット米」の購入推進や「熊本暮らし人まつりみずあかり」への参加、菊池研究所の「こもればの森」の活用推進、阿蘇事業所周辺の野焼きへの参加、豪雨災害被災地支援などにも取り組んでいます。

これからもますます熊本の地下水や環境の保全に貢献できるように努力してまいります。



シルバー認定：熊本森永乳業株式会社



熊本森永乳業は森永乳業グループの九州における主力工場として「森永牛乳」「森永カルダス」などの製品を製造しています。また、「森永コンデンスミルク」などの乳製品は全国にお届けしています。

2013年にISO14001の認証を取得。同年ウォーターオフセットへの参加を開始し、「地下水を育む米」の社員食堂での利用や、敷地全体の雨水浸透など地下水涵養に継続的に取り組んでいます。2014年には地下水保全顕彰制度でブロンズ認定を受けました。

熊本地震後には熊本市と災害時井戸水提供の協定を結んでおり、会社周辺や江津湖の清掃などとともに地域社会への協力活動を展開しています。

私たちは今後も地下水保全をはじめとした環境保全に努め、持続可能な社会づくりに貢献します。



地下水保全顕彰制度認定企業・団体紹介

ブロンズ認定：株式会社セイブクリーン



株式会社セイブクリーンは昭和40年に創立以来、一般廃棄物収集運搬など衛生事業を中心とした事業に取り組み「恵みを受けた水を浄化して自然に還す」を使命とし衛生環境維持向上のサービスに努めてまいりました。

地下水保全の啓発活動として、環境マネジメントシステム ISO14001 に関連し、全社員に定期的な教育の実施や、くまもと「水」検定の受験で熊本の水の魅力についての学びを推奨しているところです。

節水活動に関して井戸への量水器の設置による地下水取水量の管理、節水シールやポスター等で社内啓発に取り組んでいます。また、ウォーターオフセットとして涵養地域の作物（地下水を育む米）を購入し社内イベント景品に活用するなど社員の地下水保全意識の向上につなげています。

私たちはこれからも「地球にやさしい 頼れる環境パートナー」として環境保全活動を推進してまいります。



**くまもと「水」検定 3級試験
全員合格で団体認定を受けました！**

ブロンズ認定：大東商事株式会社



大東商事株式会社は産業廃棄物の処分および収集・運搬をおこなっています。廃棄物のリサイクル処理は二酸化炭素の発生を抑え、地球温暖化防止に繋がるなど、当社業務そのものが環境保全活動でもあります。

さらに熊本県 SDGs 登録事業者に認定頂き、熊本港の干潟再生で熊本産のアサリを増やしたり、ペットボトルキャップ回収で子どものワクチンを寄附するなど社員一丸となって取り組んでいます。

地下水保全活動においては処理場内の節水はもちろん、水の保全活動、森林の保全、水源涵養、草原の維持と保全

などに関する事業を行っている ASO 環境共生基金への寄付や棚田の田植えボランティアを継続しています。

今後は井戸水の汲み上げ量をしっかり管理しながら、地下水保全をはじめ、環境保全活動を通じて地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

